

スカウト兵庫

2019 春
No. 9

特集

“Meet in Taiwan”

トピックス

富士スカウトを讃える会

兵庫ローバース

第3回交流キャンプ～スカウティング映えしよう～

地区活動紹介

阪神さくら地区 耐寒訓練

姫路地区 カブリンピック

元気な隊紹介

17NSJ 兵庫第5隊

コミッショナー通信

国際性豊かなボーイスカウト運動

Meet in Taiwan

ミートイン台湾/国際童軍交流活動

2019年3月26日~4月2日



国際委員長 清水秀彦

昨年8月の桃園市童軍会との交流協定書締結以降、初めてとなるスカウトによる交流活動となります。今回の兵庫連盟派遣団は、所属地域で小単位(ユニット)を編成し、桃園市駅集合解散の2泊3日の県連盟交流プログラムとしました。従いまして、プログラム前後のフライト、入出国、スカウトのプロジェクト活動などをユニット単位で行いました。また、交流キャンプでは台湾スカウトとの混成班を6つ編成し、また兵庫指導者も参画するなど幅広い交流ができました。

主活動: 桃園市童軍会との交流キャンプ(3月29日~31日 2泊3日)

副活動: 交流キャンプ前後のユニットによる個人プロジェクトの展開

実施期間: 平成31年3月26日(火)~4月2日(火)(全ユニットの活動の始めと終わり)

参加者数: 32人(スカウト17名、隊指導者8人、県連盟関係7人/現地参加、見学含む)

ユニット: 3ユニット編成

- ・姫路しろまる姫ユニット6人(3/26~3/31) ・神戸102ユニット4人(3/27~4/2) ・阪神ユニット15人(3/27~4/1)
- ・県ユニット2人(3/26~4/1) ・県ユニット2人(3/28~4/1)
- ・県ユニット現地参加1名(3/28~3/31) ・県ユニット見学2人(3/30)

桃園市童軍会参加者数: 約160名

交流キャンプ開催地: 桃園市石門营地(No.100-1, Minzhi Rd, Longtan Dist., Taoyuen city 325)



県連盟プログラム

	3/29(金)	3/30(土)	3/31(日)
午前	各ユニット活動	朝礼後、復興区へ、 溪口吊り橋散策	石門ダムへ全員でハイキング
午後	13時集合 桃園市長表敬訪問、 開会式、隊活動	大会食後、記念公園、 慈湖衛兵交代交接、营地へ	昼食は营地にてバイキング、 閉会式、桃園駅へ、16時解散
夜間	混成班・隊活動	お別れの営火	各ユニット活動

阪神ユニット 川西第4団 廣瀬 碧翔

この活動をするにあたって、僕は安全対策の仕事を行いました。そのため、計画書を作るとき、安全対策のところを作りました。でも、最初はどんなことを書いて良いのか分からず、いろいろな人に聞いてばかりでした。最終的にできたものは完璧ではなかったけど、作ることができてよかったです。プロジェクトハイクでは、早速男子が遅刻してしまい、迷惑をかけました。大きな原因は、男子3人が、誰も目覚ましなどのアラームを持っていなかったことだと思います。でも、持っていないならそれなりの対策ができるので、やはり男子が悪かったです。印象に残っているのは、十分のランタン上げです。これも男女別でやったけど、女子のランタンは高く上がって行ったのに対し男子のランタンはしばらくしたらすぐにおちてきました。きっと男子のランタンは、欲望ばかり書いていたので、すぐに落ちてきたんだと思います。このように、プロジェクトハイクでは、いろいろな発見がありました。迷惑をかけた部分もあったけど、貴重な経験もたくさんできたので、本当に良かったです。





阪神ユニット 伊丹第3団 羽倉 詞美

私は今回初めてボーイスカウトでの海外派遣に参加しました。自分たちで企画して動いていた日中は日本での団体行動と海外での団体行動はまた違うくて、電波が通じなくて連絡が取れなかったり乗った電車で間に合わなかったなどのアクシデントはあったものの、企画していた事やそれ以上のことができ本当に楽しかったです。また、報告、連絡、相談が大切であるという事も改めて感じました。

逆にキャンプでは私より年下の子が大半で語学学習も目的であった私にとっては Google 翻訳を使って説明してくれる台湾人が多く物足りなく感じた部分もありましたが中には頑張ってくれようとしてくれる子もいて言葉の壁はあるけれど伝わった時、理解できた時の達成感やはり大きいと感じました。また、私はキャンプで日本と違うと思った点は何個もありました。シャワーを絶対浴びる事です。日本のキャンプ場ではシャワーがない事もあり、浴びない日がある事が普通ですが台湾では毎日浴びる事が普通だそうです。このように普通に台湾に旅行で行っただけでは経験できない事も経験できたキャンプでした。

私は今回初めて台湾に行きましたがもう 1 回行きたいと思ったし次は夜の台湾も、もっと知りたいと感じました。準備期間が短い中、行かせてくれた両親や 3 団の関係者、台湾に滞在中サポートしてくださった県連の関係者の方、尼崎 26 団の方、桃園の方、ユニットのメンバーの方にはたくさん迷惑をかける事もありましたが私にとってはかけがえない良い思い出になり感謝しかありません。本当にありがとうございました。

阪神ユニット 伊丹第11団 中西浩太

今回の目標

台湾の歴史、文化に触れる

台湾のボーイスカウトとの交流を行う

期間 平成 31 年 3 月 27 日～平成 31 年 4 月 1 日

評価・反省点

- ・ほとんどスケジュールどおりに活動することができた
- ・28 日の活動の間間違った電車に乗ろうとしてしまった
- ・長袖の服を多く持ってきてしまい邪魔な荷物となってしまった

感想 僕は今回の活動で初めて海外を訪れた。初めて海外に行き、しかもそこでキャンプを行うということで色々な不安があったものの海外ならではの雰囲気やオーラを感じることができて非常に良い経験になったと思う。今回の活動の個人的な目標は上に書いてある通りであるが 80%ほど達成することが出来たと感じている。今回の 6 日間の間にたくさんの台湾らしい食べ物を口にすることができた。日本ではあまり見かけない食材や匂いのある食べ物、対して日本でもよく見かける食事も存在した台湾の食文化を否定するわけではないが、キャンプ場での朝食が栄養のバランスにかけているのではないかと感じた。少なくとも僕たちの団では朝からでも魚、野菜、コメ、などの配給があり、食事のバランスは十分とれていると思われる。他にも、キャンプファイヤーを派手に行うことや、調理する際立ちかまどで行うのではなくカセットコンロで調理する、朝の点検中に大きな声で何かを叫ぶ等日本のボーイスカウトのキャンプとの差異も多々見られた。しかし、僕が今回の交流でスカウトのおきて 2、スカウトは友情にあつい。ということ再認識することができたと思う。国や地域によって人々の考え方、見方、歴史、言語、などが異なることが多いがそれでもそれらの違いを乗り越え同じ場所でも活動できたことは非常に素晴らしく思う。自分たち以外にもボーイスカウト活動をしている仲間が世界中にいる。そのことを感じる事ができて本当に良かったと思う。今回の活動で非常にたくさんの経験を得ることができた。これからのボーイスカウト活動の中でこれらの経験をいかせるようにしていきたいと思う。

阪神ユニット 西宮第1団 石川 智彬

今回のミートイン台湾では私は半分スカウト、半分リーダーという上級班長のような形で参加させて頂きました。初日は夜市に行き、日本とはまた違う雰囲気の屋台にふれました。人がすごく多く目当ての小籠包は1つのお店しか売っておらず、すごく意外でした。また、向こうの香辛料の匂いや不豆腐の匂いが混ざり強烈な臭いだった事を覚えています。

2日目はユニットでの活動です。最寄りの駅からバスで九份に行きました。なんとかたどり着いたあと九份老街を散策し、タクシーで十分に向かいました。十分ではランタンを上げに行きました。ここは事前に調べた通り色によって意味が違うことや4色までのものを選びました。私達は健康、人間関係、勉強、友情のものを選びました。一つ一つに願いを込めながら書き込みました。ふわふわとゆっくり上がって行ったランタンは見えなくなるまで上がっていつてくれました。上がれば上がるほど願い事が叶うそうなのでよかったです。

3日目は今回の目的の台湾スカウトとの交流キャンプです。到着後開会式をした後、ミニゲームをしました。その後は男女で手を繋ぎ半分にわけトンネルをしたりぐったり、左右に別れたり色々なことをしました。台湾のスカウトは英語が通じる人が各班 1 人程しかおらず、意思疎通がなかなかできませんでした。

4日目は朝食を作ってもらっている間に清掃をしました。朝食はおかゆになれなかったばさばさご飯でした。主菜はなく、日本のお漬物のようなものが並んでいるだけでした。日本のボーイスカウトとは違うなと深く感じました。夕飯を食べた後、キャンプファイヤーをしました。ポリタン太鼓の行進や赤白の旗を使用した様々なダンスを披露してくれました。日本隊はゲームやダンスを披露し、とても盛り上がりました。その後、シャワーに入り就寝かと思いきやプチパーティーをしてくれました。向こうのお菓子やラーメンを食べてバッジや名刺交換をしました。いっぱい写真が撮れたためとても良かったです。

今回の遠征で感じたのはやはり日本との文化の違いです。食事は基本残して捨てる。これがやはり日本人としてはなかなか複雑でした。反省面は私は SIM ロック解除をするのを忘れており、現地での連絡ができなかったことです。副リーダーとしての役目を果たせなかったのではないかと感じました。また、移動する際等も携帯を借りてでもすぐに連絡すべきだったりと、情報共有がなかなかできませんでした。良かった点は、現地のスカウトとふれあい日本に来た時にまた会う約束をできたことです。異国のローパー同士の交流を通し、年下のスカウト達の活動がもっと良いものになればと考えています。今後の活動では今回感じられた情報共有の大切さを忘れずに行きたいと思えます。県連の方々、ありがとうございました。

阪神ユニット 尼崎第26団 岡川 颯夏

ミートイン台湾は私にとって初めての海外であり、海外派遣でした。私が初めに感じた事は日本との文化の違いです。トイレでトイレットペーパーが流せなかったり、バイクなどの交通量の多さなどです。面白かったのは信号機に後どれくらいで赤信号に変わるのか青信号に変わるのか秒数で表していた所です。

桃園スカウトと交流してみても一番印象深いのはキャンプファイヤーです。日本は静かな感じで進めますが台湾はライトアップの演出などとしていて、とても雰囲気盛り上がっていました。言葉が異なりなかなか喋りかけられなかったのですが台湾スカウト達から喋り掛けてくれて交流することが出来ました。野営ではフライにロープを張っていませんでしたので朝露でテントが湿気てしまいシュラフまで湿ってしまいました。日本と異なると感じました。日本に来てくれた時に教えてあげたいと思いました。台湾スカウトの朝礼は見習いたいです。

私の夢は英語を使って仕事をする事なのですが団で外国人と交流があっても喋らずにいました。今回海外派遣に参加してみても私は英語でコミュニケーションを図らなければいけない状況にならないと自分から喋らないと分かったので今後は積極的に話したいと思います。海外派遣に今後も是非参加したいです。私がミート・イン台湾に参加する事を認めて下さった黒田団委員長、ご支援下さった指導者の方々、私たちを歓迎して下さいました台湾の方々、阪神ユニットのみなさま。そしてお金を払って海外派遣に行かせてくれた両親、たくさんの方々のおかげで貴重な体験をすることが出来ました。感謝の心を忘れずに今後も活動していきたいです。ありがとうございました。

ミートイン台湾の様子が、桃園市政府新聞(民国 108-03-29)に掲載されました。

http://news.tycg.gov.tw/home.jsp?id=2&parentpath=0&mc_customize=news_view.jsp&datserno=201903290007



トピックス

富士スカウトを讃える会



富士を讃える会に参加して富士スカウトになったんだと改めて実感しました。賞を受賞される時は緊迫した空気だったので緊張しました。でも、たくさんの人におめでとうと言ってもらえて、ここまで頑張ってきた良かったなと思いました。富士章を取得できたのは周りの仲間と一緒に励ましあって頑張り、いろいろと指導して下さいました隊長など指導者のおかげです。改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。富士章を取得できたことをゴールとするのではなく、これからスカウトとして何が自分にできるのか、また、自分がしたいことに挑戦し続けていきたいです。

姫路第16団 北垣 妃那

兵庫ローバース



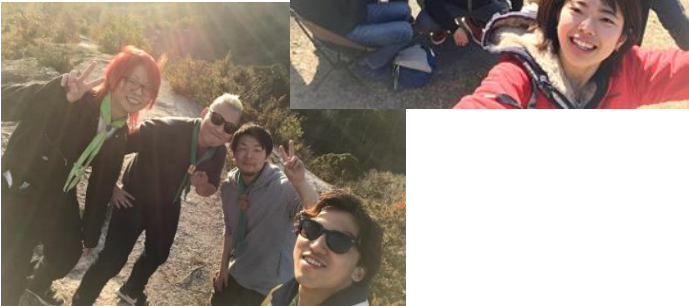
県連ユース委員会 | 兵庫ローバース | No.01

兵庫ローバース：HRS

2018年度より発足した、県ユース委員会の中のRS世代（18～25歳のスカウトおよび指導者）に特化した組織です。RCJ（全国ローバースカウト会議）との窓口の役割も果たしており、県内のRSの活動充実だけでなく全国的な交流も行なっています。日々の活動に対する意見交換の場やRS同士の交流を目的として活動しています。

第3回交流キャンプ～スカウティング映えしよう～

2019年3月8日(土)～10日(日)、加西市古法華自然公園にて行われました。今回の参加者は遅刻早退もありましたが4地区13名の参加でした。今回は「スカウティング映えをしよう」というテーマのもと、フォトコンを行いながら活動しました。



今回の交流キャンプが個人的にボーイスカウトとして久々の活動になり、ほとんど何もわかっていないような状態で活動に参加しました。話もあまりしたことがないメンバーがほとんどだったため緊張も少しありましたが、積極的に交流を図っていただき楽しく思いました。自然とのふれあいや、仲間同士で囲む食卓、スカウトならではの活動を堪能できました。写真を撮るというテーマの中、山を登り、町を一望できる景色を体で感じながらの撮影。そんなハイキングを経験できたことが、1ヶ月以上経った今でも昨日のことのように鮮明に思い出せます。

特に最近はこのような体験を行ってなかったので、新しく、そしてどこか懐かしいそんな不思議な気持ちになれる1日になりました。これからも積極的に参加させていただきたいです。

上郡第1団 BS 隊副長 岸田 広夢

今後の活動予定

6/1(土)～6/2(日) 歓迎キャンプ@洞川キャンプ場
兵庫ローバースの活動に初参加の方大歓迎！
サムゲタンなどを作りながら交流を深めましょう。



6/15(土) 定例会 18:00～@三宮周辺
2ヶ月に一度行われる定例会では、各団各スカウトの活動内容や悩みなどを共有したり、RCJからの議題について話し合ったりします。

お問い合わせ先

兵庫ローバースでは、Twitter、Instagram、Facebookで情報発信をしています。右のQRコードから各SNSに飛ぶことができます。

お問い合わせは上記SNS、またはGmailにてお問い合わせください。

Gmail：hyogo.rcj@gmail.com



阪神さくら地区

第67回 地区耐寒訓練

船坂野営場

耐寒訓練とは、極寒の1月に地区内全ボーイ隊の班長・次長が集い、技能を競う阪神さくら地区の伝統行事です。67回目の今年は船坂野営場で1泊2日で開催しました。



1日目は班ハイクです。想定を踏まえて、班ハイクの計画書を作成・実施し、夜プロで報告を行います。今年の課題は、山賊が砦を作りそうな場所を事前に地形図から推定し、当日に実地調査をして報告会で発表。敵襲から守りやすい、見つけられにくい、関所を作って登山者から通行料をせしめやすいなど、砦に適した地点を各班報告してくれました。



2日目はポイントハイク。読図能力、救急法、手旗やモールスなど、日頃の活動で身につけた技能が試されます。最後にハイキング報告書を提出して終了です。

耐寒訓練は、班長次長が共通のプログラムに挑戦し、自己のレベルを知り、今後の班活動への励みとすることを目的としています。

また、全国が参加することで、地区内ボーイスカウトの野外技能を一定水準で維持・向上させる効果もあります。



寒い中での野営でしたが、スカウトたちは事前の班集会での万全の準備、GB班の仲間との協力、地区最優秀班を目指す熱意で乗り切りました。その経験は彼らの自信となり、さらなる活動への第一歩となることでしょう。また最優秀班のスカウトは学校長へ連絡が行き全校生徒の前で表彰されることになっています。



姫路地区

カブフェスティバル(カブリンピック)

11月25日(日) 置塩城跡山麓公園



名刺づくり

11月25日、姫路地区のカブスカウトが一堂に会して「カブフェスティバル(カブリンピック)」を姫路市北部の置塩城跡山麓公園で実施しました。

風が冷たく肌寒い朝でしたが、午後からは少し寒さも和らいで元気一杯のスカウト達の楽しそうな声が、公園一杯に響き渡りました。

まず、午前中は組集会。初めて出会ったスカウト達を7つの組(チーム)に分け、各隊の指導者がデンリーダーとしてつきました。組(チーム)ごとに、名刺交換や自己紹介。そして、午後からのカブリンピック本番に向けての競技練習。

混成チームなので、チームワークを心配しましたが、さすがカブスカウトはみんな仲間。みんなであれこれと作戦を練りながら、また、工夫をしながら練習する姿に本番が楽しみになりました。



段ボール戦車

さて、午後の隊集会は「カブリンピック」。

- ①段ボール戦車 ②ポッチャリング
- ③新聞紙砲丸投げ ④しっぽとり の4種目。

どの競技も盛り上がり、競技をするスカウトや応援するスカウト、そして、会場全体が笑顔に包まれ、大勢で活動する事の大切さと連帯感を実感するとても素敵な一日になりました。



全員集合



大輪



元気な隊紹介



17NSJ 兵庫第5隊

昨年の夏、石川県で開催された第17回日本スカウトジャンボリーに、当団は一個隊で兵庫5隊として参加しました。持参した木材で設営する等、スカウトらしいキャンプを心掛けながら、全員元気に7日間のジャンボリーを楽しむことができました。

毎年12月に実施している六甲全山縦走は昨年で第15回目を迎えました。昨年の参加者はサポートも含めて合計70人超え！配給や車サポートも含めると100人以上が関わっており、団の結束も確認できる活動です。今年もスカウト全員が完走することができました。

神戸第54団 ボーイ隊隊長 前田 晋吾



コミッショナー通信

みなさん、こんにちは！スカウト兵庫に今回からコミッショナー通信を掲載させていただくことになりました。ここでは、コミッショナーからスカウト、指導者、保護者の皆さんへスカウト活動がより一層楽しく活発になれるような内容を発信していきますので楽しみにしてください。

優秀組・優秀班を取ろう！！

カブスカウトは組集会、ボーイスカウトは班集会を積み重ねて隊集会に挑みますよね。そこで、狙うは自慢の自分たちの組、班が優秀班になること！！でも、競い合う相手がいないと優秀班とる楽しみはないですね。少なくとも3組、3班以上ないとやり甲斐でないよね。組数、班数が足りなかったらどうしよう？人数を増やそう！でも、今すぐは無理だね。じゃ、それまでどうしようか？複数組、班での活動ができるようにスカウト、指導者一緒に考え知恵を絞りましょう。競い合い、切磋琢磨する仲間がいてこそ楽しい活動ができます。だから、隊集会で優秀組、班を取れるよう組集会、班集会で頑張る準備をするんだよね。

目指せ、優秀組！！ 優秀班！！

コミッショナー紹介

県連盟コミッショナー 高田真志 所属：西宮3団 53歳
ちかいを立てた者のみが着用できるスカウトユニフォームに誇りを持とう！！



事務局ニュース

13NA 現地説明会

来夏の大会開催に向け、今夏参加希望者（団）への説明会を現地開催されます。
会場施設の視察と生活やプログラム等の計画の説明、障がい児スカウティングに関する情報交換や第13回日本アグーナリーの取組みについての意見交換を予定されています。

日時：2019年8月11日（日・祝）14:00
～12日（月）11:00 解散（1泊2日）

会場：福島県国立磐梯青少年交流の家
※公共交通機関をご利用の方は、13:30 猪苗代駅集合、マイクロバス等で送迎を予定。

参加対象：第13回日本アグーナリー参加希望の団または隊の指導者
参加費：3,000円

（食費を含む1泊2日宿泊費、資料代、情報交換費含む）

※往復の旅費は参加者の自己負担

詳細は今後、日本連盟ホームページにて案内予定です。

兵庫スカウトミュージアム

平成31年度 オープンデーのご案内

平成31年	4月28日	***	***	***
令和元年	5月26日	6月30日	7月28日	8月25日
	9月29日	10月27日	11月24日	***
令和2年	1月26日	2月23日	3月29日	***

テーマ集会・座談会などの開催

- 第1回 9月29日 14時～ 中島、苦瓜、長
ウッドバッジ100周年にちなんで
- 第2回 11月24日 14時～ 山田知輝
ベーデン・パウエルについて（B-P祭の参考に）

〒651-1423 西宮市山口町船坂 578 船坂春至山荘内

24WSJ 訓練キャンプ

4/29 から 5/1 にかけて事前訓練キャンプを
尼崎市立青少年いこいの家で実施しました。
生憎の雨模様でしたが、雨の合間に予定通りの
プログラムを実施できました。今回のキャンプを
通し班・隊のチームワークが深まり、準備も順調に進んでおります。
7/22 から 8/2 の 24WSJ 本番に向けて、スカウト達が成長できるように隊
として積極的に活動していきたいと思ひます。

24WSJ 21 隊隊長 藤原 健資



平成30年度

富士章・隼章・菊章

取得者を紹介します。



富士章

前号～現在

尼崎第 14 団	山田 詢
西宮第 10 団	橋本 琴音
尼崎第 3 団	八木 誉

以上：3名



隼章

前号～現在

尼崎第 1 団	藤堂 恭行
姫路第 16 団	藤原 弥侑
神戸第 70 団	今井 徹郎
三田第 1 団	三木 玲苑
三田第 1 団	増田 涼太
神戸第 54 団	長澤 亮太

以上：6名



菊章

前号～現在

宝塚第 5 団	田中 敦士
伊丹第 10 団	谷口 俊介
宝塚第 5 団	隅谷 奈央
尼崎第 14 団	佐藤 萌子

以上：4名

年間取得者数

富士スカウト章： 8名
隼 スカウト章：17名
菊 スカウト章：32名

おめでとうございます。弥栄!!

編集後記

次をた真△
号実。つ編
以踐こ只集
降さの中△
でれG。終
紹たW時盤
介こは代は
はしと、は
りてそ平上
まい思れ成
地きいそから
区すたまれら
いすの令
とがス和連
と思、力に休
下いそ変と
門まれテわる
篤す。ままG
弘たグしW
ボの国を△
1成際迎G
イ長交えW
スの流ら中
力実、れ、
ウ感訓たス
トが練方カ
マキもウ
さヤ多テ
ンクイン
！プおん
らグ
や日れキ
っ々た
てのよん
て活うプ
よ動でにて
っの中ね。令
たで。和

い今ス△
け後カ紙
たもウ面
ら若つづ
なのいが
思るに携
い線に
までとわ
介実な
で感か
できるし
ます。県
記事内
事を書
いて様
々な

阪神北地区
田中 いづみ